

こうしゅう 市議会広報

50号

2018.4.27 発行
山梨県甲州市議会

初めての桜に興味津々

- 50号記念企画 編集委員が歩いて・聴いた市民50人の声 P2~
- 特集① 平成30年度予算の審査 P4~
- 特集② 3月定例会レポート 議案の審議結果 P8~
・高校3年生(18歳)まで入院費を無料化
- 議案等議決結果一覧表 P10~
- 一般質問 11人の議員が市政を問う! P12~
- 常任委員会レポート P24~

 マチイロ

マチを好きになるアプリ



※広報紙をスマートフォンやタブレットで

編集委員が歩いて聴いた
市民50人の声

問1

あなたは「こうしゅう市議会広報」を読んでいますか？

- ・毎号読んでいる..... 13
- ・興味のある記事だけ読んでいる..... 11
- ・時々読んでいる..... 17
- ・あまり読まない..... 9

問2

問1で回答した理由について、当てはまるものを選んでください

(複数回答可)

【「毎号読んでいる」「興味のある記事だけ読んでいる」「時々読んでいる」と回答した方】

- ・市議会の活動や議員の考えに関心があるから..... 31
- ・市政に対する一般質問や委員会の審査内容に関心があるから..... 22
- ・議案等の審議結果に関心があるから..... 16
- ・学校教育や社会活動の一環として勉強したいから..... 8

議会広報は未来に向けた市政の現状を知ることができます
岡成禎さん(塩山上於曾)



住みよいまちづくりを望んでいます。毎号読んでいます
三枝林さん(大和町木賊)



まちの発展を期待しながら読んでいます
矢崎義男さん(勝沼町上岩崎)



子育て支援や教育行政など関心がある記事を中心に読んでいます
若月梨乃さん(塩山熊野)



市民の声が掲載されていて良いと思います。大きい字を使った読みやすい紙面づくりを望みます
河野さをりさん(塩山下塩後)



興味がある記事を読んでいます。新人議員の活動報告を掲載してはどうでしょうか
廣瀬周次さん(塩山上於曾)



一般質問の内容や委員会の審議結果がよく分かります。興味のある記事を読んでいます
手塚益朗さん(大和町初鹿野)



これからも市議会広報を読んで議会や議員さんの考えを知りたいと思います
河野恵さん(大和町初鹿野)



市議会でのどのようなことが審議されているのか関心があります
山下秀樹さん(大和町日影)



住みよいまちづくりのために、議員一人ひとりの考えを知りたいと思います
廣瀬ふみ子さん(塩山上於曾)



【「あまり読まない」と回答した方】

- ・読む時間がないから..... 5
- ・市議会に関心がないから..... 2
- ・内容が堅苦しいから..... 1
- ・活字が多く読む気にならないから..... 1

若い世代にも身近なものになるような取り組みが必要だと思います
小林さとさん(塩山三日市場)



あまり読みません。議員さんの活動内容をまったく知らないで今後は読みたいと思います
今澤仁美さん(塩山下粟生野)



創刊50号を迎える今号では、より親しまれる議会広報を目指して、編集委員が市民の皆様の声を聴き編集に生かしたいとの思いから、記念企画として議会広報に関するアンケートを実施しました。

問3

市議会広報以外に市議会や議員の活動等の情報をどこから得ていますか？
(複数回答可)

- 県内ニュースや地元新聞…………… 27
- 地元ケーブルテレビ…………… 24
- 議員から直接聞いている…………… 16
- 会派や議員個人の報告会やお便り…………… 8
- 市議会ホームページ…………… 3

今回の結果から、多くの方に読まれているものの、委員会の審査に関心を持っていただくための工夫、図や写真を増やすなどの改善が必要だと分かりました。今回いただいたご意見を今後の編集に生かし、より親しまれる議会広報を目指していきたいと思えます。

問4

市議会広報で関心のある内容を教えてください
(複数回答可)

- 市政に対する一般質問…………… 28
- 議案に対する質疑や討論…………… 23
- 議案等の審議結果…………… 19
- 市民が参加する企画…………… 12
- 委員会の審査内容…………… 3

一般質問を読むことによって、議員の考え方や資質を知ることができます

渡邊久雄さん(勝沼町勝沼)



今まで自分に関心がある記事以外は読みませんでした。内容はポイントがまとめであり分かりやすいです

野田瑞穂さん(勝沼町勝沼)



各委員会がどのような活動をしているのか知りたいです

筒井保文さん(塩山上於曾)



どの内容にも大変興味があります。市民との対話を通して幅広い内容を取り上げてほしいです

萱原春美さん(塩山上於曾)



議員活動の様子を知りたいです。議員活動の状況を写真やコラムで取り扱ってみてはどうでしょう

矢澤悟史さん(塩山下於曾)



若い議員さんの発言や取り組む姿勢に興味があります

田本理絵さん(勝沼町下岩崎)



アンケートへのご協力、率直なご意見、ありがとうございました。

問5

市議会広報が市民の皆様により親しまれるために、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください

若い人たちにも興味を持ってもらうため、中学生や高校生に記事を依頼してみてはいかがでしょうか

中村えり子さん(塩山上於曾)



市民にとってより分かりやすく、興味・関心が持てる記事が増えるとよいと思います

保坂真也さん(勝沼町勝沼)



議員さんが日頃から感じていることや議員活動の中で知ったことなどをエッセイ風に掲載してみても

山下恵美さん(勝沼町綿塚)



市内に多くある歴史的な寺院などを市議会広報で紹介して、観光振興につなげてほしいと思います

水上稔さん(塩山上於曾)



記事は分かりやすい語句を使い、写真や図を多く掲載して読みやすい工夫してほしいです

吉田てる美さん(塩山千野)



市議会広報を読むと、とても勉強になります。これからも楽しみにしています

内田直子さん(勝沼町菱山)



表紙の写真を市民から募集してみてもいかがでしょうか

神宮司昭男さん(勝沼町菱山)



市民の輪が感じられるよう、毎月リレー形式で市民からの寄稿文を掲載してほしいです

向山忍さん(塩山上於曾)



読みやすい広報紙だと思います。写真などを多めに掲載すると、さらに読みやすくなると思います

渡邊真美さん(塩山下萩原)



他市町村の広報紙を参考にして、議会活動がより多くの市民に理解されるような紙面づくりを研究してほしいです

堀口丈夫さん(塩山上於曾)



予算

一般会計

164億7800万円の予算

まちづくりへの予算編成を問う

一般会計とは、福祉、衛生、土木、教育など、市の運営に関する基本的な経費を計上している会計で、市税や地方交付税を主な歳入としています。

平成30年度の予算案は、各常任委員会へ所管事項ごとに付託され、3月9日から15日にかけて審査を行い、原案のとおり可決すべきものと決しました。「市税全体の伸び悩みや合併特例債の借入限度額到達など、厳しい状況のなかで、国の予算編成の動向や社会、経済情勢の推移等に留意した予算編成」（施政方針の抜粋）となりました。主な質疑を要約してお伝えします。

地方交付税

29年度比約1億円減額

歳入

■市税

問 固定資産税が平成29年度と比べて増額されているが、太陽光発電設備に対する課税はどのくらいを見込んでいるのか。
答 10キロワット以上の発電設備が課税対象となり、平成30年度は、29年度比161件の増の838件を見込んでいる。

■地方交付税

問 地方交付税が、平成29年度比約1億円減額されている理由を問う。
答 普通交付税の段階的縮減が大きな理由である。

問 地方交付税の減額など厳しい財政状況の中で、予算編成において苦心した点はあるのか。
答 限られた財源を重点的かつ効率的に配分し、人口対策や子育て支援等に重

歳出

■総務費

きを置いた。また、市税の増加に見合わない地方交付税の減少が見込まれたため、各課に最大5割の予算削減を依頼するとともに、予算の不足分を基金でまかなうこととした。

問 勝沼CATV施設管理運営事業に810万円が計上されているが、事業内容を問う。
答 勝沼CATVが指定管理を行う施設について、運営状況や資産状況を分析し、施設の廃止や民間事業者への譲渡など、今後の施設のあり方について指導・助言を受けるもので、監査法人に業務を委託する。

問 自動車取得税交付金の算出方法を問う。
答 県に納められた自動車取得税の約3分の2を、市町村道の延長面積で案分して交付される。

問 自動車取得税交付金の算出方法を問う。
答 県に納められた自動車取得税の約3分の2を、市町村道の延長面積で案分して交付される。

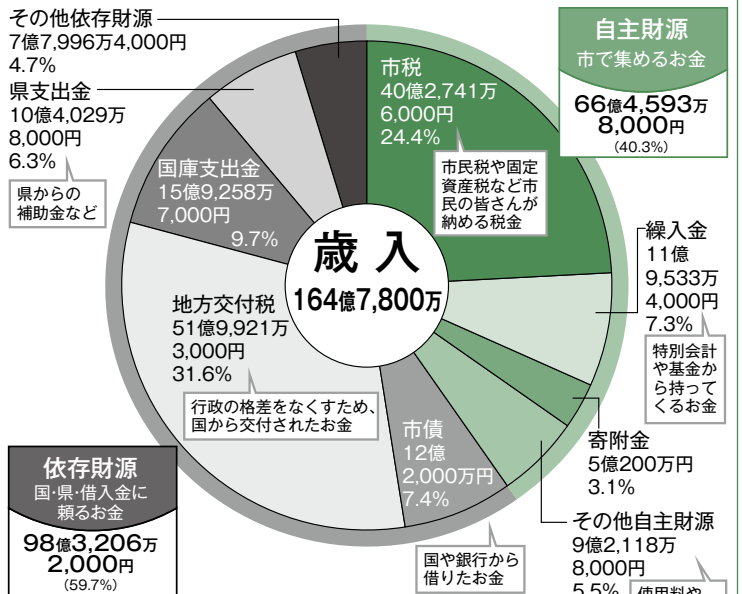
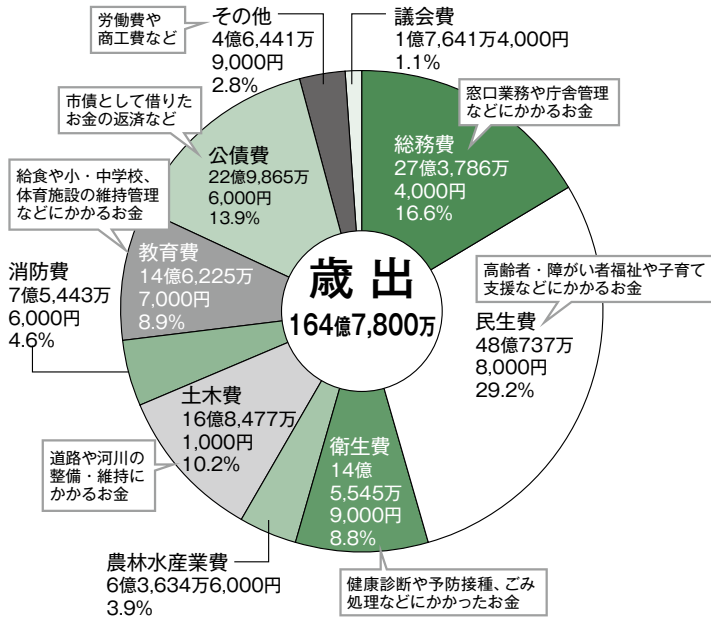
問 勝沼CATVが指定管理を行う施設について、運営状況や資産状況を分析し、施設の廃止や民間事業者への譲渡など、今後の施設のあり方について指導・助言を受けるもので、監査法人に業務を委託する。

■消防費

問 消防団の装備強化として、平成29年度から新しい活動服を支給しているが、30年度で全団員に行き渡るとは考えているのか。
答 できるだけ早く全団員に新しい活動服を支給したいが、あと2年ほどかかるかと考えている。



一般会計の予算額は164億円余となった。厳しい財政状況の中でも住民福祉を後退させては行けない



果実の輸出促進事業

インドネシアとタイへ進出

■農林水産業費

果実輸出促進事業の進捗状況と今後の事業展開を問う。

平成29年度は、マレーシアにリーフアイコンテナによる農産物の海上輸出を3回行ったが、特にシャインマスカットは脱粒もなく高評価を得た。30年度はマレーシアに加え、インドネシアやタイの商談会にも参加していく考えである。

マレーシアでは、シャインマスカットの店頭価格はいくらなのか。

現地の高級スーパーでは、1房あたり約3000円から4000円で販売されている。大衆店では約3000円が相場である。

■商工費

やまと天目山温泉と大菩薩の湯におけるリニューアル事業の内容を問う。

経年劣化等が進むなかで、やまと天目山温泉はボイラー循環ポンプ等の取換えと温度調節弁の改修を行う。また、大菩薩の湯はホール空調設備の改修を行う。なお、予算額は2つの事業を合わせて1745万3000円である。

■土木費

建築物耐震化促進事業費が、平成29年度比800万円増額されている理由を問う。

避難路沿道の建築物の耐震化を行うもので、平成29年度は3件を想定していたが1件の実施であったため、未実施の2件分を30年度に予算計上した。

■教育費

老朽化が進む小学校のプールについて、今後の方向性を問う。

学校教育や防災の観点からもプールは必要な施設だと考えるため、学校施設整備計画を踏まえながら検討していきたい。

■衛生費

清掃費が1836万円減額された理由を問う。

甲府・峡東クリーンセンターが完成し、負担金が終了したためである。

■民生費

生活保護費が平成29年度と比べて増額されている理由を問う。

C型肝炎やがんの治療など、生活保護受給者の医療費増加が見込まれるためである。

■保育所

保育所における障害児の受け入れ状況を問う。

市全体で10人を受け入れている。また、市としては1人につき3万7000円の補助金を保育所に交付している。

老朽化が進むプール今後の方向性は

学校教育や防災の観点からもプールは必要な施設だと考えるため、学校施設整備計画を踏まえながら検討していきたい。

甲府・峡東クリーンセンターが完成し、負担金が終了したためである。

生活保護費が平成29年度と比べて増額されている理由を問う。

C型肝炎やがんの治療など、生活保護受給者の医療費増加が見込まれるためである。

保育所における障害児の受け入れ状況を問う。

市全体で10人を受け入れている。また、市としては1人につき3万7000円の補助金を保育所に交付している。

清掃費が1836万円減額された理由を問う。

甲府・峡東クリーンセンターが完成し、負担金が終了したためである。

※内部を一定温度に保つ設備をもつコンテナ。冷凍・冷蔵の必要がある食品や医薬品などの輸送に利用される

特別会計・企業会計

特別会計とは、特定の歳入を特定の歳出に充てるため、一般会計と区別して設けられる会計です。企業会計とは、市が運営する企業（公営企業）の会計です。

介護保険事業

利用増加を見込み8200万円増額

■介護保険事業

問 介護予防サービス給付費が平成29年度比約3000万円減額され、その代わりに介護予防・生活支援サービス事業費が増額されている理由を問う。

答 平成30年度に訪問介護と通所介護が総合事業に完全移行となることから、介護予防サービス給付費のうち訪問介護と通所介護に係る部分が、総合事業に係る予算に移ったためである。

問 平成29年度予算と内容が大きく変わっている予算はあるのか。

答 歳入については、第1号被保険者保険料を6485万円増額している。これは介護給付費の増加や介護報酬の増額改定に伴い、その財源が必要となることから、介護保険料の引き上

げを行うためである。歳出については、居宅介護サービス給付費を4517万円増額している。これは訪問介護、通所介護および短期入所介護に係るサービス

の給付費で、利用者を平成29年度比3・6割増の1277人を見込んで算定している。また、居宅介護サービス計画給付費を1246万円増額している。これは

要介護認定者に対するケアプランの作成に係る給付費で、利用者を29年度比7・7割増の880人を見込んで算定している。

■国民健康保険事業

問 疾病予防費が平成29年度比786万円減額されているが、30年度の事業内容を問う。

答 平成30年度は事業の見直しを図り、28年度から実施している「レセプトのデータ構築業務のうち、二次点検業務を国保連合会へ委託するため、その費用が減額となっている。

■診療所事業

問 医師賠償責任保険掛金について、医師が常勤になるにも関わらず、非常勤であった平成29年度と同額の予算額であるが、十分に対応できるのか。

答 平成29年度も常勤医師の確保を見込んで予算を計上していたため、29年度と同額の予算額で対応可能だ

と考えている。

■後期高齢者医療

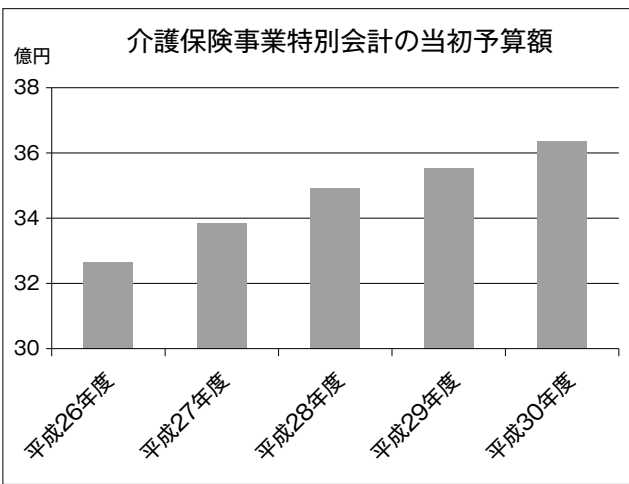
問 現在、保険料の限度額は57万円だが、平成30年度に62万円へ引き上げられることとなっている。そのことを考慮して予算を計上しているのか。

答 予算編成時において、後期高齢者医療広域連合から限度額は57万円と示されており、それに基づいて試算を行い、予算を計上した。なお、平成30年度に限度額の引き上げが予定されているが、そのことは加味していない。

■下水道事業

問 公債費について、いつ償還のピークを迎えるのか。また、最も高い借入利率を問う。

答 平成26年度が償還のピークで、今後借入れを行わない場合、28年後に返済が終了する。また、最も高い借入利率は5・5割である。



高齢化の進展に伴い、介護保険事業の予算額は年々増加している

※1 介護予防・日常生活支援総合事業の略で、市町村が中心となり地域の実情に応じたサービスを充実することで、効率的かつ効果的な支援等の実現を目指すもの
 ※2 病院が医療費の保険負担分の支払いを、公的機関に請求するための書類のこと

国民健康保険事業特別会計	歳入歳出・・・ 41億 1,066万 7千円
診療所事業特別会計	歳入歳出・・・・・・ 7,381万 1千円
後期高齢者医療特別会計	歳入歳出・・・・・・ 4億 2,729万 7千円
介護保険事業特別会計	歳入歳出・・・・ 36億 3,611万 5千円
居宅介護予防支援事業特別会計	歳入歳出・・・・・・ 896万 7千円
訪問看護事業特別会計	歳入歳出・・・・・・ 52万 2千円
下水道事業特別会計	歳入歳出・・・・ 14億 2,492万 3千円
簡易水道事業特別会計	歳入歳出・・・・ 7億 5,437万 7千円
大藤財産区特別会計	歳入歳出・・・・・・ 447万 5千円
神金財産区特別会計	歳入歳出・・・・・・ 594万 8千円
萩原山財産区特別会計	歳入歳出・・・・・・ 1,708万円
竹森入財産区特別会計	歳入歳出・・・・・・ 79万 5千円
岩崎山保護財産区管理会特別会計	歳入歳出・・・・・・ 54万 2千円
水道事業会計	事業収益・・・・ 4億 8,105万 7千円 事業費用・・・・ 4億 3,295万円
勝沼ぶどうの丘事業会計	事業収益・・・・ 10億 9,378万 5千円 事業費用・・・・ 10億 7,386万 7千円
勝沼病院事業会計	事業収益・・・・ 2,073万 1千円 事業費用・・・・ 2,073万 1千円



空調整備改修が完了予定の勝沼ぶどうの丘宿泊棟

勝沼ぶどうの丘事業

宿泊棟の空調設備改修が完了予定

■勝沼ぶどうの丘事業

問 工事請負費に442万4千円が計上されているが、内容を問う。

答 主なものとして、宿泊棟の第3期空調設備改修工事に2700万円を計上しており、宿泊棟の10室とラウンジについて改修を行う。なお、平成30年度をもって全ての空調設備の改修が完了する予定である。

問 売店収入はふるさと

納税返礼品に大きく助けられているのか。

答 ふるさと納税返礼品は売店収入に大きく貢献しているため、ふるさと納税の件数がより増えるよう、担当課と共に返礼品の商品構成を見直していきたい。

■簡易水道事業

問 上下小田原地域における簡易水道等施設整備事業の進捗よく状況を問う。

■水道事業

問 平成29年度末の進捗率は約37%で、30年度は配水池用地の購入や、配水管の新設を2300円以上実施する予定である。

問 水道施設マップピング設置事業は順調に進行しているのか。

答 現在の進捗率は54.9%で、予定どおり事業が進んでいる。なお、平成30

年度をもって事業が完了する予定である。

問 人口減少や施設の老朽化を考慮し、将来的に水道料金を引き上げる考えはあるのか。

答 今後2年間で水道ビジョンと経営戦略を策定し、事業計画の全体的な見直しを行っていくが、それまでは経営の効率化などにより、料金を引き上げないよう努力していきたい。

■勝沼病院事業

問 収入について、一般会計負担金2155万円の内容を問う。

答 事務所費や減価償却費など収益的支出に対して、一般会計から1603万円を繰り入れる。また、過去の建設工事に伴う元金償還金に対して、一般会計から552万円を繰り入れる。

■萩原山財産区

問 雑入が150万円という大きな金額になっている理由を問う。

答 県恩賜林保護組合連合会から各種団体に交付される助成金で、補助金等と使用目的が異なるため、雑入として計上している。

3月定例会レポート 議案の審議結果

平成30年甲州市議会3月定例会は、2月23日から3月19日までの25日間の会期で開かれ、条例案、平成30年度各会計予算案、平成29年度一般会計補正予算案、人事案など58件の事件について慎重な審議を行いました。主な議決内容を要約してお伝えします。

（審査の詳細は24頁からの常任委員会レポートを参照）

子ども医療費助成を拡充

高校3年生（18歳）まで入院費を無料化

◆高校生等医療費助成金支給条例の制定は、子育て支援の一環として実施している子ども医療費の助成について、現行、「中学3年生までの入院・通院に係る医療費」としている助成対象を、平成30年4月から「高校3年生（18歳）までの入院に係る医療費」も対象とするに伴い、必要な事項を定めるため制定するもので、可決しました。

◆市長等の給与及び旅費条例等の一部改正は、市長ほか特別職の給料月額を平成31年3月31日まで減額するため、関係する3条例について所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

平成30年4月から 介護保険料を増額改定

等により、要支援者・要介護者の切り捨てや利用者負担の増加などが引き起つて、本条例案に反対する。

◆市長等の給与及び旅費条例等の一部改正は、市長ほか特別職の給料月額を平成31年3月31日まで減額するため、関係する3条例について所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

◆介護保険条例の一部改正は、平成30年度から開始する第7期介護保険事業計画に基づき、介護保険料の改定を行うほか、保険料段階における合計所得金額の改正を行うなど、所要の改正を行う必要があるため制定するものです。本会議では、「可決すべきもの」として教育民生常任委員長の報告に対して反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆シェアオフィス施設設置及び管理条例の制定は、

◆委員長報告に反対討論

お試しサテライトオフィス機能とコワーキングスペース機能を併設した、地方創生拠点施設「甲州市シェアオフィス施設」の設置および

業務量が増加するとともにその内容も複雑化している家庭相談員の報酬月額を改定するため、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

川口信子 国の法改正



各常任委員会を含め、25日間の会期で開催された3月定例会

※1 企業の本社や官公庁等の本庁舎から離れた所に設置されたオフィスのこと
 ※2 独立して働く個人が、机・椅子・インターネット設備などの実務環境を共有しながら仕事を行う場所のこと

下水道・浄化槽使用料

平成30年7月から引き上げへ



下水道事業の健全な経営のためには、料金改定だけでなく事業内容の精査も求められる(下水道管理設工の様子)

◆下水道使用料条例及び浄化槽の整備に関する条例の一部改正は、下水道事業会計の健全性向上を目的として、下水道使用料の改定を行うとともに、下水道使用料と同じ料金体系である大和地域の浄化槽使用料の改定を行う必要があることから、所要の改正を行うものです。本会議では、「可決すべきもの」とした建設経済常任委員長の報告に對

して反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。なお、改定後の料金体系は下表のとおりとなります。

■委員長報告に反対討論
川口信子 市民福祉の向上のために、各自自治体が責任を持って下水道事業に取り組んでいられるにもかかわらず、受益者負担の原則を前面に打ち出し、使用料の引き上げを行うことは市の責

任転嫁である。よって、本条例案に反対する。

◆空家等対策の推進に関する条例制定は、倒壊の恐れがある空き家について、所有者等の意向が確認できない場合に市が緊急安全措置を講じられるようにするもののほか、市の空家等対策の推進に関し必要な事項を定めるため制定するもので、可決しました。

◆東山梨環境衛生組合の解散については、甲府・峡東クリーンセンターの稼働に伴い、東山梨環境衛生センターの管理・運営に関する事務を廃止にすることから、平成30年3月31日をもって東山梨環境衛生組合を解散するため提出されたもので、可決しました。

第二次総合計画 基本構想を可決

◆第二次甲州市総合計画基本構想については、平成29年度をもって第一次甲州市総合計画の計画期間が終

了したことを受け、新たに30年度から39年度までの10年間にわたる第二次甲州市総合計画の基本構想を策定するもので、議会の議決を要することから提出され、可決しました。

平成29年度一般会計 総額は171億円余に

◆平成29年度一般会計補正予算(第7号)は、1億3313万円を追加し、歳入歳出をそれぞれ171億546万1000円としました。主な歳出内容は、総務費としてふるさと支援基金積立金等に1億2960万1000円、農林水産業費として県営担い手支援型畑地帯総合整備事業費等に8366万7000円追加し、議会費は議員報酬等を748万4000円、土木費は社会福祉整備総合交付金事業等を7186万9000円減額するものです。

主な歳入内容は、市税に4800万円、寄附金に2882万9000円、繰越金に2億1977万9000円追加し、繰入金を1億9874万8000円減額するもので、可決しました。

下水道・浄化槽使用料の改定内容

・基本料金(2カ月分・消費税込)

汚水の種類	基本汚水量	改定前	改定後	改定額
一般用	20㎡まで	1,676円	1,960円	+284円
公衆浴場用	200㎡まで	5,580円	6,520円	+940円

・従量使用料(2カ月分・消費税込)

汚水の種類	基本汚水量	改定前	改定後	改定額
一般用	1㎡につき (21㎡以上50㎡以下)	111円	130円	+19円
一般用	1㎡につき (51㎡以上)	138円	162円	+24円
公衆浴場用	1㎡につき (201㎡以上)	70円	83円	+13円
臨時用	1㎡につき	153円	179円	+26円

議案の審議結果

平成30年度一般会計予算

討論・採決により賛成多数で可決

◆平成30年度一般会計予算は、「可決すべきもの」として各常任委員長の報告に対して反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で可決し、歳入歳出それぞれの総額を164億7800万円としました。(歳入歳出の詳細は5ページの円グラフを参照)

◆委員長報告に反対討論
川口信子 本市において

も子どもの貧困を解消するために、学校給食の無料化に取り組む必要がある。また、塩寿荘閉館の原因が明らかになっておらず、高齢者福祉が後退している現状である。これらの理由から本予算案に反対する。

◆平成30年度の各特別会計・企業会計予算(全16会計)は、それぞれ原案のとおり

り可決しました。(各会計の歳入歳出総額および事業収益・費用は7ページの表を参照)

◆萩原山財産区管理委員に、廣瀬宗勝氏(79・塩山上塩後)、黒川武雄氏(59・塩山下小田原)、青柳好文氏(60・塩山上粟生野)を選任することに同意しました。

◆岩崎山保護財産区管理委員に、飯島孝也氏(44・勝沼町下岩崎)、牧野徳幸氏(71・勝沼町上岩崎)を補充選任することに同意しました。

広報コンクールで最優秀賞を受賞



山梨県広報協会の主催による、平成29年度山梨県広報コンクール「議会広報紙部門(市部)」において、当市議会広報48号が最優秀賞を受賞しました。

今後も読みやすく、分かりやすい編集を心がけ、皆さまに親しまれる広報紙の発行を目指していきます。

◆人権擁護委員に、近藤陸江氏(63・勝沼町小佐手)を推薦することに同意しました。

◆教育委員会教育長に、保坂一仁氏(67・塩山赤尾)を任命することに同意しました。

平成30年3月定例会 議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※夏八木盛男議長を除く

種別	議案番号	案件名	議員名	掲載ページ	平塚 悟	小林真理子	飯島 孝也	高野 浩一	廣瀬 一郎	青柳 好文	飯島 武志	高畑 一幸	廣瀬 明弘	黒川 武雄	岡部紀久雄	日向 正	川口 信子	廣瀬 重治	中村 勝彦	丸山 国一	夏八木盛男	廣瀬 宗勝	結果			
条例案	議案第1号	甲州市シェアオフィス施設設置及び管理条例制定について		P.8																						
	議案第2号	甲州市空家等対策の推進に関する条例制定について		P.9																						
	議案第3号	甲州市高校生等医療費助成金支給条例制定について		P.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第4号	甲州市指定居宅介護事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例制定について																								
	議案第5号	甲州市長等の給与及び旅費条例等の一部を改正する条例制定について		P.8																						
	議案第6号	甲州市下水道使用料条例及び甲州市浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例制定について		P.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議長	○	可決	
	議案第7号	甲州市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		P.8																						
	議案第8号	甲州市職員給与と条例の一部を改正する条例制定について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	甲州市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例制定について																								
	議案第10号	甲州市財政調整基金条例の一部を改正する条例制定について																								

次ページにつづく

議案番号	議員名 案件名	掲載ページ 議案広報	平塚	小林真理子	飯島孝也	高野浩一	廣瀬一郎	青柳好文	飯島武志	高畑一幸	廣瀬明弘	黒川武雄	岡部紀久雄	日向正	川口信子	廣瀬重治	中村勝彦	丸山国一	夏八木盛男	廣瀬宗勝	結果		
			悟	子	也	一	郎	文	志	幸	弘	雄	雄	正	子	治	彦	一	男	勝			
条例案	議案第11号	甲州市出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定について																				可決	
	議案第12号	甲州市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について																				可決	
	議案第13号	甲州市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	P.8																			可決	
	議案第14号	甲州市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第15号	甲州市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第16号	甲州市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第17号	甲州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例制定について																					可決
	議案第18号	甲州市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第19号	甲州市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について																					
議案第20号	甲州市指定介護予防支援事業者の指定に関する事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について																						
予算案	議案第21号	平成30年度甲州市一般会計予算	P.10																			可決	
	議案第22号	平成30年度甲州市国民健康保険事業特別会計予算																					
	議案第23号	平成30年度甲州市診療所事業特別会計予算																					
	議案第24号	平成30年度甲州市後期高齢者医療特別会計予算																					
	議案第25号	平成30年度甲州市介護保険事業特別会計予算																					
	議案第26号	平成30年度甲州市居宅介護予防支援事業特別会計予算																					
	議案第27号	平成30年度甲州市訪問看護事業特別会計予算																					
	議案第28号	平成30年度甲州市下水道事業特別会計予算																					
	議案第29号	平成30年度甲州市簡易水道事業特別会計予算																					可決
	議案第30号	平成30年度甲州市大藤財産区特別会計予算																					
	議案第31号	平成30年度甲州市神金財産区特別会計予算																					
	議案第32号	平成30年度甲州市萩原山財産区特別会計予算																					
	議案第33号	平成30年度甲州市竹森入財産区特別会計予算																					
	議案第34号	平成30年度甲州市岩崎山保護財産区管理会特別会計予算																					
	議案第35号	平成30年度甲州市水道事業会計予算																					
	議案第36号	平成30年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計予算																					
	議案第37号	平成30年度甲州市勝沼病院事業会計予算																					
補正予算案	議案第38号	平成29年度甲州市一般会計補正予算（第7号）	P.9																			可決	
	議案第39号	平成29年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）																					
	議案第40号	平成29年度甲州市診療所事業特別会計補正予算（第3号）																					
	議案第41号	平成29年度甲州市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）																					
	議案第42号	平成29年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第5号）																					
	議案第43号	平成29年度甲州市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第2号）																					
	議案第44号	平成29年度甲州市下水道事業特別会計補正予算（第3号）																					
	議案第45号	平成29年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）																					
	議案第46号	平成29年度甲州市水道事業会計補正予算（第3号）																					
	議案第47号	平成29年度甲州市勝沼病院事業会計補正予算（第1号）																					
その他の案件	議案第48号	第2次甲州市総合計画基本構想について	P.9																			可決	
	議案第49号	甲州市過疎地域自立促進計画の変更について																					
	議案第50号	東山梨環境衛生組合の解散について	P.9																				
	議案第51号	東山梨環境衛生組合の解散に伴う財産処分について																					
人事案	議案第52号	萩原山財産区管理委員の選任について	P.10																			同意	
	議案第53号	岩崎山保護財産区管理委員の補充選任について	P.10																				
	議案第54号	人権擁護委員の推薦について	P.10																				
	議案第55号	教育委員会教育長の任命について	P.10																				
報告	報告第1号	第2次甲州市障害者総合計画変更の報告について																					
議員発議案	発議案第1号	甲州市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について																				可決	
	発議案第2号	甲州市議会会議規則の一部を改正する規則制定について																					

議長

11人の議員が 市政を問う!



一 般 質 問

3月定例会では、産業・教育・福祉・防災・環境・基盤整備など市政全般にわたり、3月6日・7日の2日間、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。

1	廣瀬 一郎 議員	公明党	13ページ
2	岡部紀久雄 議員	政和クラブ	14ページ
3	川口 信子 議員	日本共産党	15ページ
4	平塚 悟 議員	創生会	16ページ
5	小林真理子 議員	子どもにつなぐ未来の会	17ページ
6	丸山 国一 議員	創生会	18ページ
7	廣瀬 重治 議員	是々非々の会	19ページ
8	廣瀬 明弘 議員	政和クラブ	20ページ
9	高野 浩一 議員	政和クラブ	21ページ
10	飯島 孝也 議員	創生会	22ページ
11	青柳 好文 議員	政和クラブ	23ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。3月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。
掲載・発行はいずれも6月上旬の予定です。



会議録検索
システム



廣瀬一郎議員

公明党



収入保険制度
(農水省HP)

Q 農家の収入保険制度 周知方法は

A 説明会等の実施を検討していく

問 平成30年の秋から新たに農家の収入保険制度が始まる。本市では、この制度の周知をどのように行っていく考えなのか。

答 この制度は、現行の農業共済制度と重複して加入することができず、補償内容も異なっている。既に農林水産省等のホームページで紹介されているが、農業委員会だよりによって周知するとともに、関係機関と連携しながら説明会等の実施を検討していきたい。

問 本市におけるカーブミラーの設置状況を問う。

答 1月末現在、2345基が設置されている。

問 本市におけるカーブミラーの修繕状況を問う。

答 この3年間の修繕状況は、平成27年度は53基、28年度は55基、29年度は2月末現在32基である。

問 市民がカーブミラー

に不具合を見つけた場合、どのような対応をとればよいのか。

答 安全確認のために、市の専門交通指導員等が巡回しているが、危険箇所を発見した場合には、区長を通して報告してもらいたい。

小中学校の暖房にエアコンの活用を

問 小中学校の暖房は石油ファンヒーターを主体としているが、年明けにかけての灯油代高騰により、予算が厳しかったと推測される。そこで、小中学校の教室に設置されているエアコンを暖房に活用することはできるのか。

答 灯油代と電気代を単純に比較することは難しいが、この冬の朝は石油ファンヒーターを使用し、その後順次エアコンを使用するという運用に努めたところ

である。今後も料金を抑えながら、より良い環境づくりを目指していきたい。

問 市営住宅と定住促進住宅の防災設備を問う。

答 住宅用火災警報器は、全戸に設置済みである。また、火災時の非常ベルは、上塩後住宅の新しい棟において各階段の踊り場に設置されているが、それ以外の住宅には未設置である。さらに、消火器は、全住宅において各階段の踊り場等に設置している。

問 市営住宅に入居中の低所得者に対して、家具転倒防止器具取付費の助成を行う考えはあるのか。

答 現在、そのような助成は行っていないが、本市

は東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されているため、今後対策を考えていきたい。

問 3月末現在の定住促進住宅の入居状況を問う。

答 赤尾住宅については、入居が47戸、空き家は33戸である。勝沼住宅については、入居が55戸、空き家が25戸である。松里住宅については、入居が32戸、空き家が48戸である。

問 定住促進住宅に入居中のひとり親世帯や低所得世帯に対し、家賃の助成を行う考えはあるのか。

答 定住促進住宅の家賃は民間の賃貸住宅より安く、助成を行うと民間の経営に影響を与えかねないため、助成は考えていない。



小中学校の各教室に設置されているエアコン。経費節減を図りながらも良好な学習環境を維持してほしい

岡部紀久雄議員

政和クラブ



防災マニュアル
(市HP)



地域防災力向上のためにも、実践的な防災訓練は必要である
(千野地域の避難所開設図上訓練の様子)

Q 避難所生活を想定した防災訓練を A 実践的な訓練実施に向けて支援を行う

問 地域で実施している防災訓練の内容を問う。

答 毎年9月1日の防災の日に合わせて、自主防災会等が中心となって避難所への誘導訓練、初期消火訓練などを実施している。
問 避難所での生活を想定した訓練が必要だと考え

るが、いかがか。

答 平成29年度は、千野地域で塩山北公民館を避難所と想定した、避難所開設の図上訓練を実施した。今後も避難所開設等の実践的な訓練が実施されるよう、支援を行っていききたい。

問 防災訓練の実施について、今後の方向性を問う。

答 避難所での役割分担を定めた運営マニュアルの策定や、避難所開設訓練が重要と考えおり、訓練の必要性を認識してもらうためにも広報等を活用して周知していききたい。

問 買い物弱者支援について、市内移動販売業者の営業状況を問う。

答 複数の事業者が山間地を中心に移動販売を実施している。

問 近隣市と連携して買い物弱者支援を行う考えはあるのか。

答 自治体の枠を越えて移動販売を実施している事例もあるため、広域的な対応について検討していきたい。

問 急速に高齢化が進むなか、買い物弱者対策をどのように講じていくのか。

答 市内の各地域を分析し、地域の実情に適した対策を選びながら進めていく。

高齢者の免許返納者へ市バス回数券を交付

問 高齢者の運転免許自主返納支援事業について、現在の対応を問う。

答 平成29年10月から事業を開始し、運転免許を自主返納した高齢者に対して、市が運行する路線バスまたはデマンドバスの回数券を交付している。

問 昭和町でデータ移行ミスによる、固定資産税の誤課税があったと報道され

た。本市では、データ移行ミスによる誤課税をどのようにに防止しているのか。

答 平成29年9月に、家屋だけでなく土地や償却資産も含めてデータ移行内容を検証し、誤りがなかったことを確認した。また、課税前には再点検を実施している。

問 市民課や税務課など4月に繁忙期を迎える部署の人事異動を、4月1日から改める考えはあるのか。

答 採用や定年退職に関わるため、人事異動は全職員を対象に行う必要があるが、一部の部署だけ改めることは難しいと考えている。

問 納税通知書の送付用封筒をカラーで印刷することと、収納率向上につながるかと考えるが、いかがか。

答 送付用封筒のカラー印刷を含め、収納率向上に向けてさまざまな手法を研究していききたい。

問 小中学校の統合について、今後の方向性を問う。

答 教育長 保護者や地域住民の意見を聞きながら、3年後をめどに中学校の統合を行っていく。

川口信子議員

日本共産党



空き店舗対策費補助金制度 (市HP)



Q 空き店舗対策 今後の取り組みは

A 現状を把握して対策を講じる

問 甲州市空家等対策計画の策定から1年が経過したが、空き家の現状を問う。また、どのような具体策を講じる考えなのか。

答 計画策定時における空き家数は1850戸程度だが、個々の管理状況については把握できていない。まずは、所有者等に適切な管理をお願いするとともに、諮問機関等を設置し、具体策を協議していきたい。

問 空き店舗対策について、今後の取り組みを問う。

答 空き店舗の現状把握が必要だと考え、現在、塩山駅周辺において空き店舗調査を実施している。今後は、その結果を参考にしながら対策を講じていきたい。

問 現在実施中の空き店舗調査の内容を問う。

答 今回の調査は、従来の調査から調査対象を拡大し、閉鎖した店舗や居住に用いられている店舗も対象

としている。内容としては、所有者の確認に加え、貸し出す意思や今後使用する意思の有無を調査している。

問 空き家のリフォーム補助は市外からの転入者のみ対象としており、平成29年度は3件の申請があった。

答 空き家のリフォーム補助は市外からの転入者のみ対象としており、平成29年度は3件の申請があった。

保育所の入所率 公私間で大きな開き

問 公立保育所の入所率は50%台だが、私立保育園の入所率は100%に迫っている。この2つに大きな開きがある原因を問う。

答 私立保育園の方が、保護者の希望をかなえられているためだと思われる。

問 平成29年9月定例会において、条例に定める施設基準を満たしていない児童クラブについて質問した

ところ、「基準に見合うよう努力していく」との回答があった。基準に見合うための努力とは何を指し、そのめどは立っているのか。

答 2020年度を目標に、公共施設等総合管理計画に基づく個別計画を策定し、それに沿って施設のあり方を考えていきたい。

問 塩寿荘の閉館から現在に至るまでの経過を説明したチラシが1月に配布されたが、配布に至るまでの経過を問う。

答 平成29年12月の議員全員協議会で一連の経過を説明したところ、広報に掲載して周知すべきとの指摘を受けたが、1月号への掲載が間に合わなかった

め、チラシを全戸配布した。

問 高齢者だけでなく全市民が利用できるような福祉施設を、塩山地域に新設する考えはあるのか。

答 新設は行わず、既存施設を有効活用していく。

問 今定例会の施政方針説明で、勝沼CATVが指定管理を行っている施設について、市長は「民間事業者への譲渡なども視野に」と述べている。この民間事業者には、勝沼CATV以外の事業者も含まれるのか。

答 施設のあり方について、改修、譲渡等も視野に入れ、平成30年度中に結論が出せるよう検討していく。また、民間事業者については広く公募していく。



空き店舗対策費補助金制度を活用して開業した理容室の様子

平塚 悟議員

創生会



牛久市と共同した
日本遺産申請(市HP)



甲斐大和駅前の新初鹿野橋には雨よけシェルターが設置される

Q 甲斐大和駅の整備計画は
A 駅前に雨よけシェルターを設置する

問 甲斐大和駅の整備計画を問う。

答 平成30年度は、駅前の新初鹿野橋の歩道部に、雨よけシェルターを設置する。また、駅舎内外のトイレの設計・改修について、JRと協議を進めていく。

問 備計画の進行状況を問う。

答 平成29年度に、市が所有する駅舎南側の耐震診断を実施し、施設の安全性が確認できた。今後は、観光案内所機能等を残すなかで、その利活用について官民協働で検討していく。

問 市として支援に努めたい。

答 大藤診療所と勝沼病院の運営方針を問う。

今後、審査委員会の審議を経て、5月には認定の可否が判明する予定である。

問 勝沼氏館跡の整備状況を問う。

答 現在、史跡指定面積の39・2割、約2万1745平方メートルを公有化し、そのうち、約1万3284平方メートルの整備が完了した。

問 勝沼氏館跡の今後の整備計画を問う。

答 保存管理活用計画に沿って整備を実施しており、平成29年度は東屋の整備等を実施した。今後も遺構内の再整備とともに、発掘調査を実施し、遺構の全容把握に努めていきたい。

問 勝沼ぶどう郷駅周辺の景観を生かし、どのように駅前広場を整備するのか。

答 現在、景観保全について地域住民と意見交換を実施しており、景観に配慮した整備を検討している。

問 4月から国民健康保険制度が変更となるが、保険事業に影響があるのか。

答 新たに県も保険者となるため、市町村への指導や助言の強化が考えられる。

日本遺産認定に向け
牛久市と共同申請

問 介護保険事業について、今後の計画を問う。

答 認知症対応型共同生活介護施設など、利用者増加が見込まれる施設を新たに3施設整備する。また、医療機関と介護支援専門員との連携を強化していく。なお、4月から社会福祉協議会による訪問看護ステーションの運営が始まるため、

問 日本遺産認定に向けて、牛久市と共同で申請を出したが、その内容を問う。

答 「日本ワインの歴史ロマン薫る風景」という名称で、両市のワインに関する文化財を巡ることで、日本ワイン発展の歴史を体感できるという内容である。

問 武田の聖地ツーリズムなど滞在型事業を企画し、武田の聖地ブランド化事業を拡大する考えはあるのか。

答 現在、武田勝頼公まつりや武田の聖地フットパスツアーなどを実施している。滞在型事業については、今後研究していきたい。

問 田辺市政4期目の重点施策を問う。

答 人口対策や子育て支援など、重要な課題に的確に対応する事業を推進する。



小林真理子議員

子どもにつなぐ未来の会

A **Q**
地域住民と方向性を協議していく
商店街の街並みを残すための対応を

問 第二次甲州市商工業振興計画の方向性を問う。

答 平成30年度から5年間の計画期間として定め、地域ブランドの創出により、にぎわいのあるまちづくりを進めていく。

問 中心市街地の活性化に向けて、どのような具体策を講じていくのか。

答 現在実施している起業支援に加え、空き店舗バンクの創設や、*クラウドファンディングを活用したビジネスプランコンテストの実施を計画している。

問 平成18年には空き店舗数を把握できていたにもかかわらず、現在把握できていない理由を問う。

答 この数年間、正式な空き店舗の実態調査を実施していないためである。

問 商店街の更地化が進むなか、中央通り、仲町通り、本町通りの各商店街には昭和レトロを感じさせる

景観が残っている。統一感のある街並みを後世に残すためには、早急な対応が必要だと考えるが、いかがか。

答 古き良き街並みを残すためにも、中心市街地にぎわいを取り戻すことが重要である。地域住民等と話し合う場を設け、今後の方向性を協議していきたい。

問 新規事業者に対する補助制度があるが、平成29年度は早期に予算を使い切ったと聞いている。ニーズがある制度なので、予算の増額措置をしてもらいたいが、いかがか。

答 本市予算による補助制度のほかに、県や商工会による創業支援制度もあるため、活用してもらえよう周知していきたい。

問 東京オリンピックに向けて、さまざまな機運醸成の取り組みが実施されているが、本市が参加してい

るものがあるのか。

答 大会マスコットの投票や「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」に参加している。

問 みんなのメダルプロジェクトの内容を問う。

答 全国から携帯電話等の小型家電を集め、そこから抽出したりサイクル金属でメダルを作るといったプロジェクトである。本市では、市内5カ所に携帯電話専用の回収箱を設置し、2月末までに22台を回収した。

**積雪時の登校判断
 マニュアルはあるのか**

問 学校施設の修繕と改修の予定を問う。

答 修繕については、専

門職員が現地を確認し、優先順位をつけて実施している。改修については、学校施設整備計画を現在策定中であり、これに沿って実施していく。

問 学校から修繕の要望はどのくらいあるのか。

答 平成30年度の当初予算要求段階で、小学校58件、中学校40件の計98件の要望があり、そのうちの57件について予算を計上できた。

問 2月の積雪時に、危険な思いをして登校した生徒がいたと聞いている。積雪時の登校時間繰り下げなど、対応マニュアルは用意されているのか。

答 マニュアル等の用意はなく、各学校の判断で対応している。



人通りが少ない中央通り商店街。街並みを残すためにも、にぎわいを取り戻したい

*商品開発や事業開始のために、インターネット経由で不特定多数の人々から資金を募る仕組みのこと

丸山国一議員

創生会



人口減少問題と地方の課題
(内閣府資料)



人口減少対策として移住の促進が求められる
(東京都で開催された移住相談会の様子)

Q 人口減少による本市の消滅を避け
A 全庁をあげた努力が必要である

問 第二次甲州市総合計画に人口対策はどのように反映されているのか。

答 総合計画はまちづくりの指針を定めたものであり、人口対策も含め、全ての行政活動を推進するものとなっている。

問 これまでの人口対策

の成果を問う。

答 移住希望者等の本市への注目度は上がっていると感じるが、明確な成果は出ていないため、今後も継続的に取り組んでいきたい。

問 通称「増田レポート」と呼ばれる、人口減少によって消滅する都市を発表した資料では、2040年に896の自治体が消滅する可能性がある」と示されている。本市の消滅を防ぐためにも、今後の対策を考える必要があるのではないか。

答 甲州市人口ビジョンにおいて、2040年に人口規模2万7000人の維持を目標として定めており、若者の転出抑制や出生率の向上など、全庁をあげた努力が必要だと考えている。

問 定住人口と交流人口に対する考えを問う。

答 定住人口については、子育て支援による転出抑制や、移住希望者に対し

てお試し住宅等を活用しながらPRを行っている。交流人口については、特産品や歴史的資源を活用し、誘客に努めている。

問 ふるさと納税の寄附者や、たまに地域を訪れる人たちを指す「関係人口」という言葉をよく耳にする。人口対策として関係人口へのアプローチも必要だと考えるが、いかがか。

答 関係人口から移住につながる事例が全国的に多く見られるため、人口対策の一つとして取り組みが必要だと考えている。

問 人口の受け皿づくりであるまちづくりについて、塩山駅南口広場の整備計画を問う。

答 利用者の利便性向上のため、広場内のレイアウト変更や駐車場の配置見直しなどを考えている。

問 峡東3市で連携した人口対策の取り組みが必要

だと考えるが、いかがか。

答 平成29年度に峡東地域創生連携会議を設立し、連携を強化しながら移住施策に取り組んでいる。今後も、就農希望者を対象とした移住相談会や移住希望者向けの魅力紹介ツアーの実施を計画している。

問 人口対策として、小規模校教育の成果を発信することが必要だと考えるが、いかがか。

答 小規模校の良さや特色がある学校は、移住促進にもつながるため、市ホームページ等において情報発信していきたい。

塩山高校存続のために
中高一貫教育の実施を

問 塩山高校の存続と本市の教育力アップの観点から、塩山高校と連携して中高一貫教育を実施することはできないのか。

答 市長 本市唯一の高校である塩山高校を存続させるためにも、市民の協力をお願いしたい。また、中高一貫教育については、中学校の統合も踏まえながら、一つの選択肢として検討していきたい。



廣瀬重治議員

是々非々の会

萩原山 都からの交付金廃止の経緯は

不祥事を契機に廃止が協議された

問 萩原山財産区について、以前は東京都から毎年500万円程度の交付金が交付されていたが、平成26年度をもって交付が停止されてしまった。25年に起きた元市職員による公金着服事件がきっかけだと考えるが、交付が停止された明確な理由と経緯を問う。

答 平成25年2月に元市職員が財産区の公金を着服したことが発覚し、これを契機に東京都と交付金のあり方について協議を始めた。東京都からは、社会情勢の変化の中で交付金の意味合いが失われていること、都民等への説明責任が果たせないなどを理由に、26年度の交付をもって終了するという結論が出され、交付金廃止の覚書を取り交わした。

問 交付金の意味合いが失われていることが廃止の理由ではなく、公金着服事件の発生や、その事件処理

について指摘を受けたことが廃止の理由だと考えるが、いかがか。

答 あくまで事件の発生は協議の契機となっただけであり、廃止の理由は東京都が説明したとおりである。

問 萩原山財産区から財産区内の地域に対して交付金が交付されているが、事件発生前と現在で交付金額に変化はあるのか。

答 以前は、東京都からの交付金を地域交付金の財源としていた。しかし、平成26年度に東京都からの交付金が廃止となったため、27年度から5年間、財産区の基金を毎年500万円取り崩し、地域交付金や運営費の一部に充てることとした。なお、事件発生前も現在も地域交付金の金額は同じである。

問 基金の取り崩しについて、5年間という期限を設けた理由を問う。



萩原山の維持・管理などは財産区管理会の会員が行っている

問 財産区運営委員会等で協議したが、地域交付金の今後のあり方について、すぐには結論を出すことができなかったためである。

問 基金の取り崩しを決定した際に、経費削減など財政運営の見直しについては協議されたのか。

答 その時点では話がなかったと思われる。

議員と財産区管理委員 兼職はやめるべきでは

問 市議会議員と財産区管理委員の兼職に、法的な問題がないことは理解している。しかし、市議会議員は予算の議決を行い、監査委員を兼職することもあったため、財産区管理委員との

兼職は速やかにやめるべきだと考える。財産区管理会の中では、そのような意見は出されているのか。

答 その点について協議されたという話は聞いていない。いずれにしても、財産区管理委員の兼職については、財産区管理会等で十分に議論して決めていくべきことだと考えている。

問 議会が監視機関としての機能を果たすためにも、財産区管理委員の兼職は速やかにやめるべきだと思いが、執行機関の長として市長の考えを問う。

答 市長 財産区管理会の運営については、財産区の中で決めるべきことであり、私が意見を言うことはできない。

廣瀬明弘議員

政和クラブ



日本防災士機構



防災知識、災害時の対応知識の普及啓発に努めたい
(防災リーダーを対象とした防災研修会の様子)

Q 大規模災害時の受援計画策定を

A 早期策定に向けて検討していく

問 地域防災力の強化について、市内自主防災組織の結成状況を問う。

答 現在、94地区に自主防災会が結成され、その中で90人の長期在任リーダーが活躍している。
問 本市と近隣市における防災士の登録状況を問う。

答 2月末現在、本市では61人が防災士に登録されている。また、山梨市では42人、笛吹市では74人が登録されている。

問 防災士を増やすために、どのような取り組みを行っているのか。

答 県と共催で「甲斐の国・防災リーダー養成講座」を開設し、資格取得に向けた研修を実施している。また、1人5万円を限度として、資格取得費用の助成を実施している。

問 大規模災害発生時に他の自治体やボランティアによる支援を受け入れ、有効に活用するためにも、受援計画の策定が必要だと考えるが、いかがか。

答 県では平成29年3月に受援計画を策定したが、県内市町村ではまだ策定されていない。応援職員の職務スペースの確保や、支援物資の集積拠点の確保など

検討すべき項目も多くあるため、県から支援を受けながら早期策定に向けて検討していきたい。

問 第二次甲州市商工業振興計画について、具体的施策の進行管理はどのように行われるのか。

答 計画では50の具体的施策を掲げており、個別にPDCAサイクルによる進捗管理を行っている。

問 小規模事業者に特化した支援策はあるのか。

答 平成31年度中に、小規模事業者支援を目的とした条例が制定できるように、現在準備を進めている。また、小規模事業者用の融資制度の見直しや、経営支援セミナーを実施していく。

問 「健康ポイントこうしゅう」事業の内容を問う。

答 健康に無関心な層も含め、市民が楽しみながら健康づくりに取り組みることができ環境づくりを行う事業である。内容としては、運動、食、健診の3コースを設け、各コースに参加して獲得したポイントにより、さまざまな特典を受けることができるものである。

特定健診の受診率
県内13市でトップ

問 本市における特定健康診査の受診状況を問う。

答 平成28年度の受診率は57・5割で、3年連続で、県内13市の中で最も高い受診率となっている。これも各地域における健康教育の実施、電話による個別受診勧奨など、受診率向上に向けた取り組みの成果だと考えている。

問 本市におけるがん検診の受診状況を問う。

答 胃がん、肺がんなどの5大がん検診の受診率は、いずれも国が定める目標値に達していない。今後は、検診の対象年齢を見直すとともに、より多くの方に検診を受けてもらえるよう健康カレンダー等で周知を図っていききたい。



高野浩一議員

政和クラブ



就農定着支援制度推進事業
(市HP)

Q 農業の担い手育成 30年度の計画は

A 就農支援と農地集約に取り組む

問 農業の担い手育成事業について、平成30年度に実施を計画している施策とその周知方法を問う。

答 国や県による就農支援事業に加え、市独自で就農定着支援制度推進事業を実施する。内容としては、移住者や就農希望者等に対し、アグリマスターによる農業技術研修を実施するものである。また、担い手農家への農地集約を進めるために、農地流動化奨励補助事業にも取り組む。なお、こうした事業については、ホームページや広報を通じて周知に努めていきたい。

問 農業女子プロジェクト事業の概要と本市における取り組みを問う。

答 女性農業者が培った知恵を企業の技術と結びつけ、新商品やサービスを創出し、社会に広く発信していくプロジェクトである。現在、本市には女性に特化した

た農業関連施策はないが、JA等と連携して、まずは女性農業者たちの集いの場づくりを目指していきたい。

問 本市における農福連携の取り組みを問う。

答 本市には農業に取り組む福祉事業所が5カ所あり、そのうち3カ所で農福関連事業を展開している。今後は情報収集やニーズの把握など、農家と福祉関係者の間に立って事業を進めていきたい。

問 世界農業遺産の認定に向けた取り組みの進捗状況を問う。

答 現在、学術機関に調査を依頼し、科学的なデータも交えながら申請書の作成を進めている。

問 世界農業遺産に認定された場合、農業活動に制限が発生するのか。

答 農業活動に制限は発生しないが、5年間の行動計画を定めるため、認定された

地域はその計画に従って行動していくことになる。

上条・玉宮地域で農泊事業を推進

問 国では2020年までに、全国500カ所に農泊を整備する目標を掲げている。本市では、どのような計画で農泊事業を進めていくのか。

答 本市では、上条集落に農泊施設を整備する。また、農泊関連事業として、玉宮地域に98WINEsというワイナリーを整備する。まずはこの2つの事業を着実に推進していきたいと考えている。

問 98WINEs整備に至った経緯と整備の現状

を問う。

答 98WINEsは都市と農村をつなぐ交流型ワイナリーを目指しており、国の農泊推進対策の趣旨と合致したため交付金を申請したところ、事業が採択された。平成29年度はワイン醸造所の整備を実施しており、30年度は交流・体験施設の整備を計画している。

問 ワイン原料であるぶどうの確保を目的に、メルシャン株式会社が上小田原地域に農地造成工事を実施したが、その後の進捗よく状況を問う。

答 昨年は白ぶどう品種を100本植樹し、ことしは黒ぶどう品種を中心に植樹を進める。なお、初収穫は4年後を見込んでいます。



上条集落にある納屋が農泊施設として整備される

飯島孝也議員

創生会



先人たちの情熱と挑戦の歴史が現代の日本ワインづくりにつながっている

Q 勝沼が日本ワイン発祥地である正当性は醸造の歴史と技術に裏付けられる

答 郵便局と委託契約を締結している自治体も見られるため、まずは先進事例の調査を行い、個人情報取り扱い扱いや運用費用など総合的に研究していきたい。

問 勝沼が日本ワイン発祥の地である正当性を問う。

答 明治10年に大日本山梨葡萄酒会社が誕生して以来、いつときも途絶えずにワインを醸造してきた歴史を有すること。また、現代に通じる醸造方法を確立し、醸造技術の発信地とし

て揺るぎない地位を得たと。以上のことに裏付けられ、発祥地である正当性を主張できると考えている。

ないため、山梨・甲州環境共同組合に委託している。

問 地場産業に関わる研究機関や企業の誘致を進める考えはあるのか。

問 甲州アルプスをはじめ、都心からのアクセスの良さや、豊富な登山ルート等を有する貴重な観光資源だと位置付けている。

答 ワイン科学コースを有する山梨大学をはじめ、首都圏の大学や企業など広く働きかけていきたい。

問 イベントの運営について、財源の自立を促すためにも、実行委員会のNPO法人化の考えはあるのか。

答 現在、実行委員会が市から予算措置を受けてイベントを運営しているため、実行委員会です十分な審議が必要だと考えている。

問 災害用備品の不備を調査しているのか。

答 自主防災会等の備品について、消火器の補充や消火栓ボックスの修繕などを行っている。

郵便局を活用し住民の利便性向上を

問 リサイクルステーション回収業務の現状を問う。

答 回収業務に必要とされる、車両数や従業員数を有している事業所が市内に

問 住民の利便性向上のため、市内に点在している郵便局を活用して市役所の窓口サービスを提供する考えはあるのか。

問 行政サービスを移譲し、地域自治を地域住民に任せる考えはあるのか。

答 現状では難しいと考えている。

答 まずは改善を求めるが、改善に至らない場合は打ち切りもありえる。

問 指定管理者が厳しい評価を受けた場合、指定期間中であっても契約の打ち切りはありえるのか。

答 まずは改善を求めるが、改善に至らない場合は打ち切りもありえる。

※1 大菩薩嶺から小金沢連嶺に連なる山々のこと。本市出身の登山家、天野和明氏が名付け親
 ※2 20の欄外を参照

青柳好文議員

政和クラブ



橋りよう長寿命化修繕計画
(市HP)



Q 橋りよりの点検状況は

A 30年度で全ての点検が完了する

問 大藤保育所と神金保育所について、両施設の今後のあり方を問う。

答 両施設とも現在休園中だが、毎月、市職員が施設の状態確認や除草を実施している。両施設の今後のあり方については、2020年度までに公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定し、それに沿って検討していく。

問 橋りよりの点検や耐震化の進捗状況を問う。

答 橋りようについては、平成26年4月の道路法施行規則の改正により、5年に1度の点検が義務付けられたため、本市でも26年から市道橋の点検を開始した。29年度末までに228橋の点検が完了し、30年度をもって全ての橋りよりの点検が完了する。また、本市にはJR中央線の跨線橋が9橋、中央自動車道の

跨道橋が4橋あり、29年度に跨線橋1橋について耐震工事を実施した。今後は、橋りよう長寿命化修繕計画を基に、点検結果を反映させながら計画的に耐震化や修繕を実施していく。

問 農道のトンネルの点検および管理状況を問う。

答 3本のトンネルを所有しているが、平成25年度に点検を実施したところ、全てから安全性が確認された。また、管理については、日々の目視点検や照明器具の交換などを実施している。

問 市道や水路の修繕状況を問う。

答 地域からの要望によって修繕が必要な箇所を把握しており、平成29年度は、市道について22件の要望があり、過年度の要望も含めて26件の修繕を実施できた。また、水路について46件の要望があり、過年度の要望も含めて43件の修繕

を実施できた。なお、修繕については、地域間で偏りが生じないように調整して実施している。

市内の各地で
農業基盤整備が進む

問 農業基盤整備の進捗状況を問う。

答 平成29年度末の進捗率は、県営畑地帯総合整備事業について、山地域が84・9割、菱山地域が24・8割、日川右岸地域が92・1割である。また、一般農道整備事業について、千野地域が17・9割である。なお、ため池等整備事業については、西野原地域が完了予定であり、30年度は牛奥地域の事業着手を計画し

ている。

問 農地耕作条件改善事業の進捗状況を問う。

答 平成29年度に事業申請が国で採択され、大藤地域で事業を進めている。現在は計画測量を実施しており、31年度から工事に着手する予定である。

問 有害鳥獣の駆除について、今後の方向性を問う。

答 猟友会の高齢化が進んでいるため、若者が狩猟に関心を持つような施策を検討していきたい。また、大藤地域では「おとりわな」を用いてカラスを捕獲しており、そのような先進的な取り組みを周知し、鳥獣害対策の参考にしてもらいたいと考えている。



点検結果を基に計画的に耐震化や修繕措置を講じてもらいたい

常任委員会レポート

ふるさと納税寄附金

29年度は8000万円の減額見込み

与が減額される。

市政発展のために財政と政策部門が足並みをそろえて取り組んでいきたい。

基本構想

■第二次甲州市総合計画
この構想をどのように実現していく考えなのか。

■第二次甲州市総合計画
この構想をどのように実現していく考えなのか。

総務常任委員会
◎黒川武雄 ○平塚 悟
廣瀬宗勝 夏八木盛男
川口信子 高野浩一

総務

総務常任委員会を3月14日、15日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

置及び管理条例の制定

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

シエアオフィス施設

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

出産祝金支給条例

受給資格に定住意思を追加

教育民生常任委員会を3月9日、12日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)
■平成29年度のふるさと納税寄附金は、どのくらいになる見込みなのか。



ふるさと納税は返礼品の商品構成見直しなどにより増加に努めたい

でもらうため、意思確認ができると考えている。

■高校生等医療費助成金支給条例制定
対象者の要件を問う。

■高校生等医療費助成金支給条例制定
対象者の要件を問う。

■高校生等医療費助成金支給条例制定
対象者の要件を問う。

降最初の3月31日までの間にある者で、高校生に限らず、保護者に扶養されている者も対象となる。

■高校生等医療費助成金支給条例制定
対象者の要件を問う。

■高校生等医療費助成金支給条例制定
対象者の要件を問う。

※各常任委員会の◎は委員長、○は副委員長を表す
※そのまま放置すれば倒壊や衛生上有害となるおそれのある空き家のこと

下水道使用料の引き上げ

3年後は経営状況を検証し判断

建設経済常任委員会を3月9日、12日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■下水道使用料条例及び浄化槽の整備に関する条例の一部改正

問 平成26年度に下水道審議会から、将来的に1立方メートルあたり157円を目指して、3年ごとに使用料の引き上げを行うべきとの答申が出されている。この3年後も答申に従って使用料の引き上げを行うのか。

答 下水道への加入率や事業経費など、3年後の経営状況を十分に検証しながら慎重に判断していきたい。

問 郵送による通知や広報への折り込みなど、使用料引き上げについての周知に係る経費を問う。

答 郵送による通知などさまざまな周知を行うために、約40万円を予算計上している。

問 4月から上下水道課が下水道事業を担当するが、体制は万全なのか。

答 現在、都市整備課に

ある下水道担当がそのまま上下水道課に移るため、上下水道が一体となって事業が進められると考えている。

■平成29年度一般会計補正予算(第7号)

問 橋りょう長寿命化対策事業費が500万円減額された理由を問う。

答 交付金申請額に対して決定額が500万円下回ったためである。

問 農業用施設災害復旧費の内容を問う。

答 道路脇が崩落した農



出産祝金支給申請は、十分な定住意思の確認が求められる

助成金の支給を受けるといふ償還払いである。

問 中学3年生の3月から翌月にまたぐ入院の場合、医療費の請求はどのようになるのか。

答 医療費は月ごとの精算であるため、中学生の間は窓口無償化となるが、4月以降は一度窓口で医療費を支払い、その後助成金が支給される。

■特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正

問 利用者負担額の軽減内容を問う。

答 年収360万円相当の世帯について、利用負担額を1万4100円から1万1000円に減額する。

■東山梨環境衛生組合の

解散に伴う財産処分

問 峡東3市における財産処分の案分を問う。

答 過去5年間に搬入したごみの量で案分しており、山梨市と笛吹市が28%ずつで、甲州市が44%である。

教育民生常任委員会

◎廣瀬明弘 ○飯島孝也

丸山国一 飯島武志

廣瀬一郎 小林真理子

に係る費用で、延長19メートル幅員4メートルの客土吹付工事を実施する。

建設経済常任委員会

◎日向正 ○岡部紀久雄

中村勝彦 廣瀬重治

高畑一幸 青柳好文



下水道マンホール設置工事の様子

表紙の写真

春の陽気に誘われて勝沼ぶどう郷駅に桜を見に行くと、一組の親子に出会いました。生後6カ月の子は生まれて初めて見る桜に興味津々。お父さんの腕に抱かれ、きれいに咲いた桜の花びらをじっと見つめていました。来年はどんな桜に出会えるか楽しみです。



6月定例会開催予定

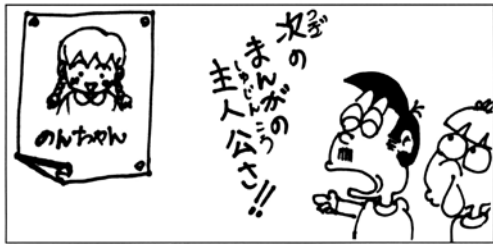
日	月	火	水	木	金	土
6/3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (開会)					
10	11	12	13	14	15	16
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
17	18	19	20	21	22	23
	予備日	常任委員会 (教育民生)	常任委員会 (建設経済)	常任委員会 (総務)		
24	25	26	27	28	29	30
	本会議 (閉会)					

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください)
○市議会とはなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場(市役所本庁舎 3階)へお越しください。

「甲州だより」

No.50 「最終かい?」

作・三森 清



4コマ漫画 新しき作者の紹介



次号から三森清さんに代わり、ペンネーム：のえるさんが漫画を担当してくれます。勝沼町在住で、趣味のケーキ作りは見事な腕前です。次号をお楽しみに！

甲州市ホームページで
議会広報のバックナンバーが読めます。

甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「議会広報」をクリックしてください。



議会広報バックナンバー

こちら編集室

■甲州市が誕生して以来、議会広報を発行してきましたが、節目となる50号をお届けすることができました。これまで、市民の声を直接聞き、議会広報に反映しようと、常任委員会ごとにテーマを決め、「市民と議会との対話」として特集を組むなど、さまざまな工夫をしてきました。

■「ほっとする」と好評だった4コマ漫画の作者、三森清さんは創刊時から50号まで休むことなく担当されました。これまでお疲れ様でした。(川)

体的につかもうと今回のアンケートになりました。皆さんの声を生かします。

編集委員長 夏八木盛男
市議会議員 岡部紀久雄
副委員長 川口信子
委員 廣瀬明弘
委員 高畑一幸
委員 青柳好文
委員 廣瀬浩一郎
委員 高野真理子
委員 小林悟